

# 週報

1988年12月11日 降誕前第2主日

巻 9 37号

1988年度教会主題

「真理の御言に聴き、従う」

あなたの御言は真理であります。あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

ヨハネによる福音書17章17節b-19節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 禾火 吉 隆 雄

よみがえらされたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである」と述べている。現在、洗礼は体を浸す浸礼でなく頭に水をかける滴礼であるが、その信仰は同じく聖霊による生まれ変わりである。私は人間の側の不真実を越えて神の真実への信頼であると思っている。だから洗礼は信仰への出発であり、傍観者からマラソン・ランナーとして走り出すことである。

その後の話し合いは、楽しかった。私もそうであったが、皆さんよく分からないうちに洗礼を受けている。挫折や反抗やつまづきもある。しかし、それらも神のみ手の中にあったという信仰を目指すのであろう。両親の信仰に従って受け入れたというクリスチャンの話は、いつ聞いても羨ましい。頑張らなくても体に染み込んだ落ちつきがある。日本の教会に二世、三世のクリスチャンが増えていく時、教会はもっと静かな力を発揮できるだろう。

## — 牧師室より —

入門講座Ⅰはローマ書を学んでいるが、この会は質問があればいつでもそれについて自由な話し合いをしている。今日は「洗礼」について質問が出されたので、まず私が聖書から話し、その後皆さんの経験を話してもらった。

洗礼は神を拒否する罪に死ぬ。それを象徴し、体を水の中に沈められる。そして、引き上げられることによって神を信じる新生を得る。パウロは、その洗礼を「わたしたちは、その死（十字架）にあずかるバプテスマによって、彼（イエス・キリスト）と共に葬られたのである。それは、キリストが父の栄光によって、死人の中から